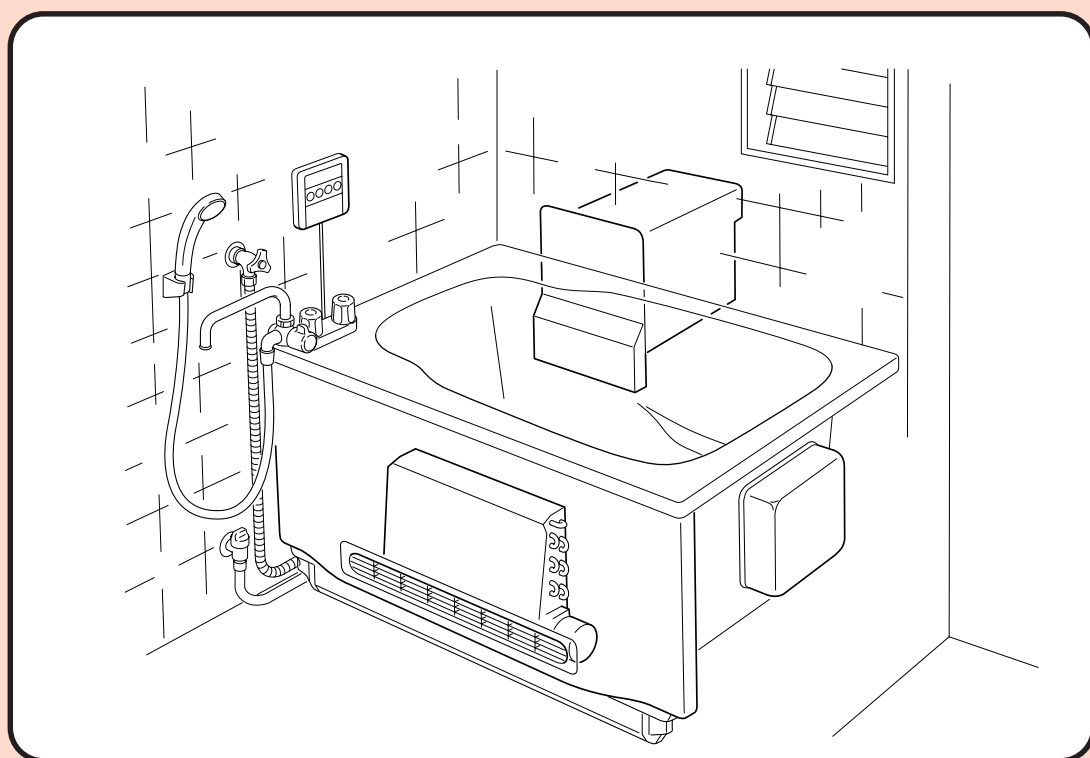
ガスふろ給湯器

浴室暖房機能付

# パックイン

外壁貫通設置形
131-7109型
131-7119型

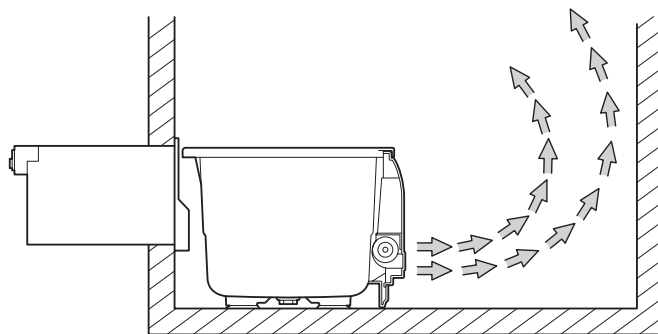
型式名　WF－1620ATD-1
WF－1620ATDL

# 取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。

大阪ガス

# 特長・機能の紹介

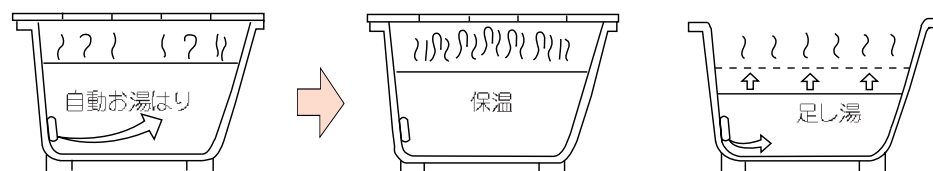
## 1 冬期など浴室を暖めることができます。

入浴前、浴室が冷えている場合、（暖房 強/弱/切）スイッチを押せば浴室を暖めることができます。温水循環方式のため、安全にお使いいただけます。

暖房運転は10分から6時間まで運転時間を設定できます。

## 2 予約した時刻に浴室を暖めます。

ふろ自動運転予約時に暖房運転も予約できますので、設定時刻には温かい浴室に入浴できます。

## 3 スイッチポンでおふろが沸かせます。

ふたをして（ふろ自動）スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。

（ふろ自動）スイッチを押して沸き上げ完了後から約 4 時間以内なら、お湯がさめれば自動で保温し、お湯が減れば自動で足し湯します。

## 4 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～60℃まで設定できます。

# 目　次

# 特に注意していただきたいこと

## ■機器を安全に正しくお使いいただくために

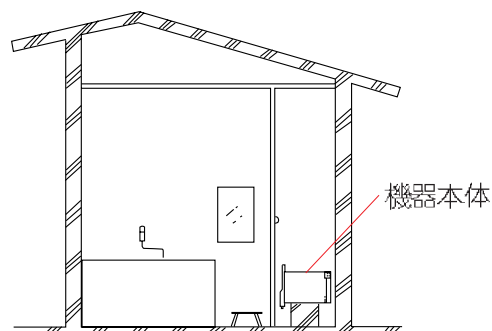
　この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

| 注意表示 | 意　　　　　味 |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。 |

　絵表示には次のような意味があります。

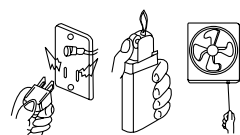
| 絵表示 | 意　味 | 絵表示 | 意　味 | 絵表示 | 意　味 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 一般的な注意事項 | | 一般的な禁止事項 | | 必ず行なう事項 |
| | 感電注意 | | 分解禁止 | | アース接続確認 |
| | 高温注意 | | 火気厳禁 | | 電源プラグを抜く |
| | 発火注意 | | 接触禁止 | | |

■機器の設置

●この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。

## 警告

### ■ガス漏れに気づいたとき

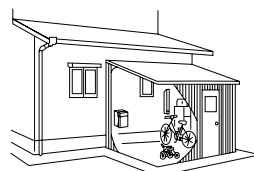
●すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」をしないでください。
　ガス爆発の恐れがあります。

火気厳禁

### ■設置場所について

●機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

●この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって、囲いをすることもおやめください。
　一酸化炭素中毒の恐れがあります。

禁　止

### ■やけどに注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、直接体にかけず湯温を確認してから使用してください。
　やけど予防のため。

●入浴の際には、湯温を確認してから入浴してください。
　やけど予防のため。

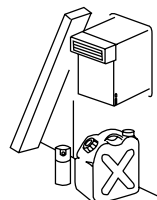
●おいだき時や暖房運転終了時は、循環アダプタから熱いお湯がでますので循環アダプタの下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。

高温注意

### ■火災予防

●排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

●機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しないでください。
　火災の原因になる恐れがあります。

●機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。
　熱でスプレー缶の圧力が上がり破裂する恐れがあります。

発火注意

### ■子供に対する注意

●浴そうの循環アダプタ付近で水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■異常時の処置

●ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。33～35ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

■使用電源の確認

●ＡＣ１００Ｖ（５０／６０Ｈｚ）以外の電源では使用しないでください。

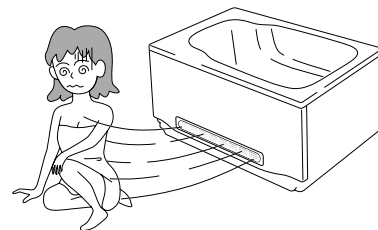
■使用ガスの種類の確認

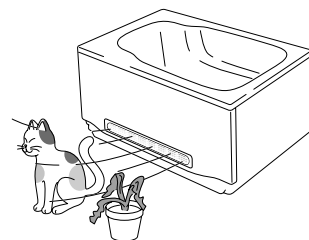
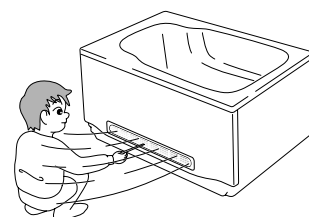
●ガスの種類を確かめてください。
機器本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。
　故障や燃焼不良、過熱の原因となります。

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

●転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

■温風暖房について

●頭髪や体を乾かすために使用しないでください。
頭髪が機器にからんだり、「脱水状態」「低温やけど」の恐れがあります。

●長時間にわたり温風を身体に直接当てないでください。
「脱水状態」になったり、「低温やけど」の原因になります。特に体力のない病気の方、乳幼児、お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、疲労の激しい方、深酒された方にはまわりの方が十分注意してください。

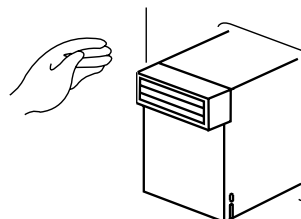
●動植物に温風を直接当てないでください。
動植物に直接風が当たると悪影響を及ぼす原因になります。

●動作中に吹出口をはずしたり、指や棒を入れないでください。
内部でファンが高速回転しているので、けがや、やけどの原因になります。

# 注意

## ■混合水栓使用時のご注意

●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
　やけどの恐れがあります。

●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

## ■やけどにご注意

●使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。

## ■用途について

●この機器は、給湯・シャワー・おいだき・浴室暖房以外の用途には使用しないでください。
　思わぬ故障の原因になります。

## ■運転停止（消火）時のご注意

●燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
　機器の故障の恐れがあります。

## ■入浴時のご注意

●おいだき中やおいだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で差があることがありますので入浴時は注意してください。

## ■温風暖房について

●可燃性ガスを近くに置かないでください。
　万一、ガスが漏れて周囲に溜まると発火し爆発する原因になります。

●温風の吹出口にカビとり剤、殺虫剤などをふきかけないでください。
　火災や故障、サビの原因になります。

●温風の吹出口の前に物を置かないでください。熱変形、変色の原因となります。

●入浴後は機器本体を良好に保つため、毎日窓を開けるなど必ず浴室の換気を行ってください。
　水滴がついたまま長期間運転を行わないとカビの発生原因となります。

●化粧品類は浴室に放置しないでください。
　クリーム・ゼリー状の化粧品は人体の体温になじみ易くなるように作っているため、それ以上の温度になると変質の原因となります。

# お願い

## ■ガス事故防止

●機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

●おやすみやお出かけ前に、機器の消火を確認してください。

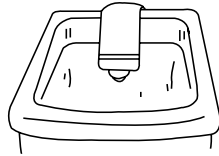
## ■業務用としての使用禁止

●この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。著しく製品の寿命が縮まります。

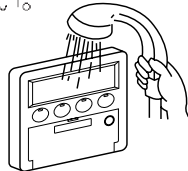
# お 願 い

## ■入浴時のご注意

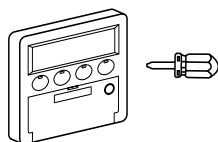
●浴そう内の循環アダプタをタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろの沸き上げができません。
また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。

禁　止

## ■リモコンの掃除

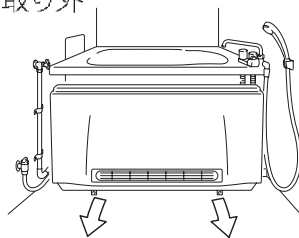
●浴室リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については31ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。

禁　止

## ■リモコンの分解禁止

●リモコンは分解しないでください。

分解禁止

## ■エプロンの取外し禁止

●浴そうからエプロンを取り外さないでください。

禁　止

## ■入浴剤や洗剤の使用について

●硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

## ■飲用についてのご注意

●しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

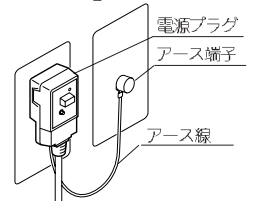
## ■市販の補助用具使用について

●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。機器の異常の原因になることがあります。

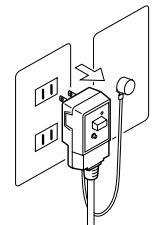
## ■電気事故防止

●電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。
プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

●アース線をアース端子に取付けてください。
感電する恐れがあります。

アース接続

## ■雷が発生しているとき

●雷が発生しはじめたら、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
機器の故障の恐れがあります。

電源プラグを抜く

## ■積雪時の注意

●積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

## ■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、36ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

## ■停電のとき

●この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。

●停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。

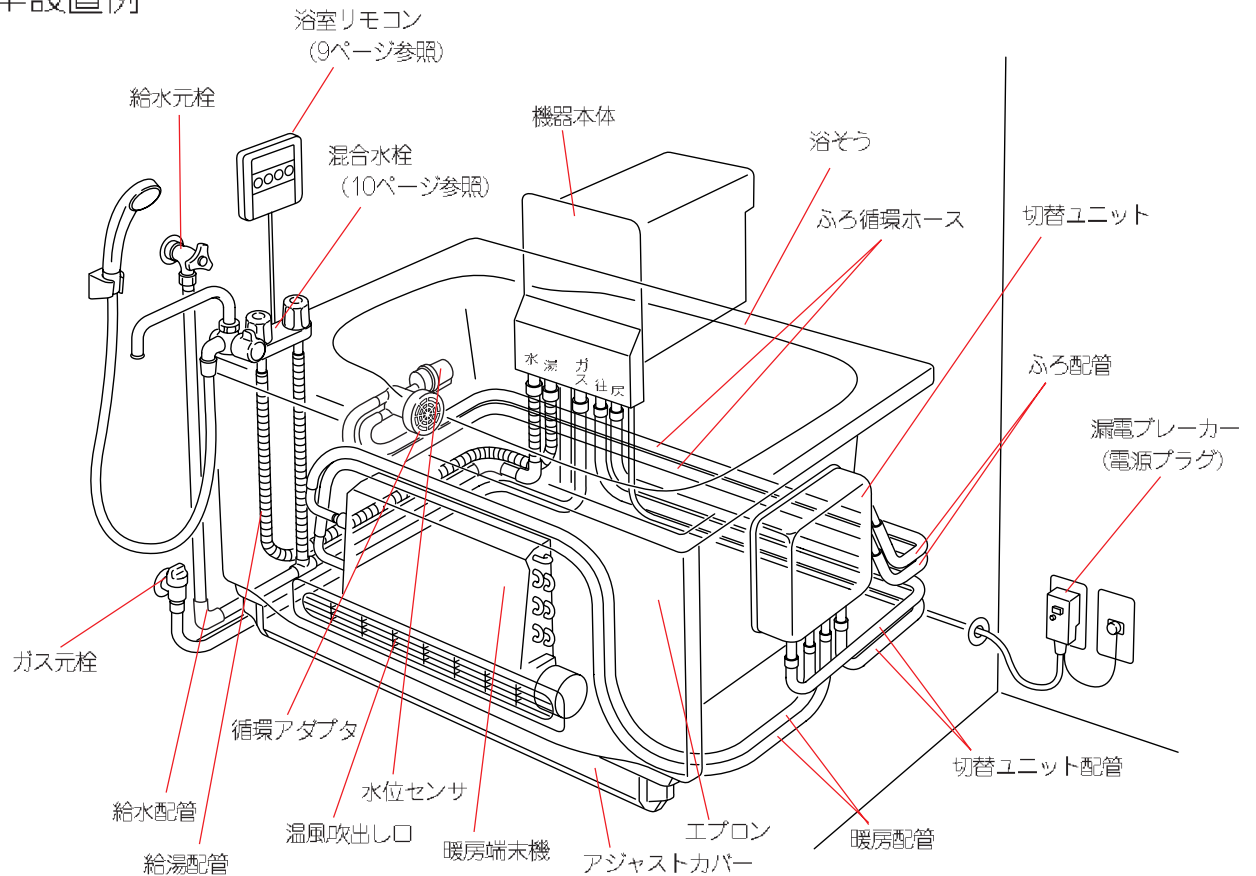
●停電復帰後も自動的に運転されませんので、11～27ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

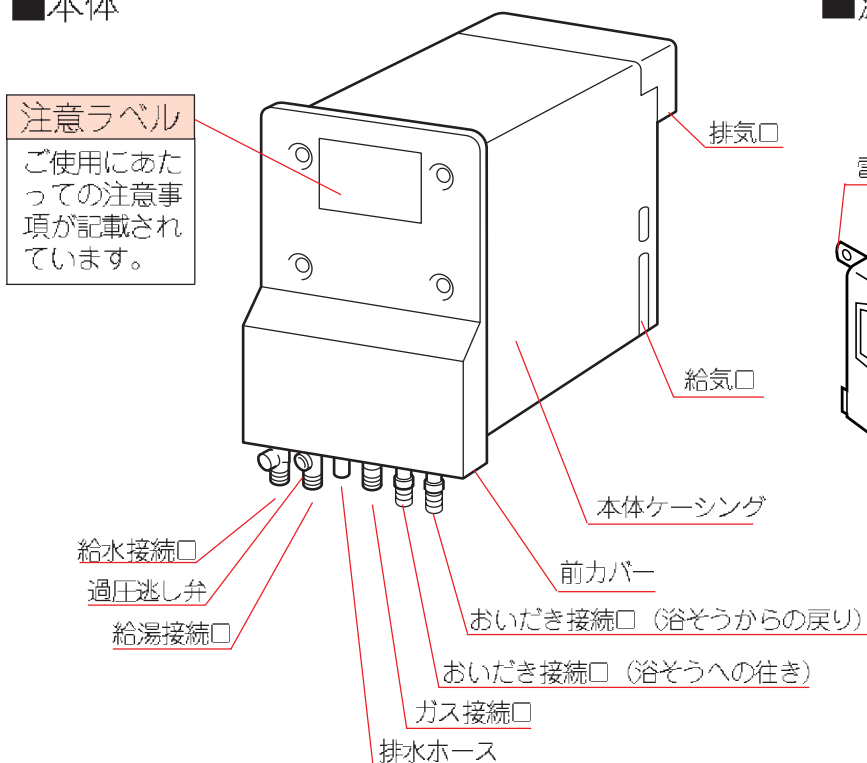
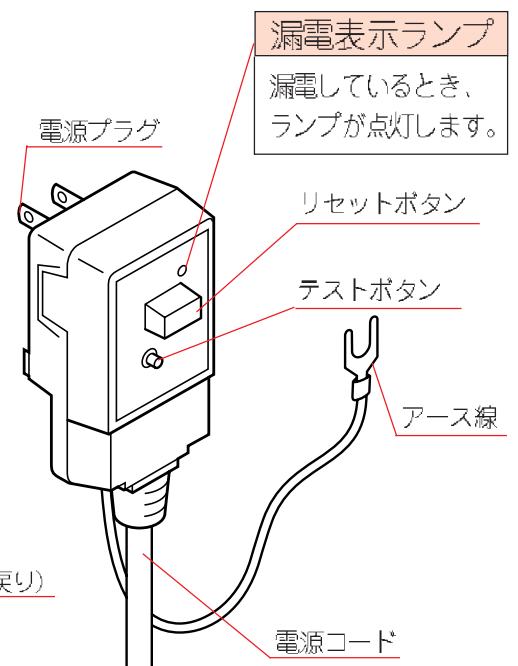
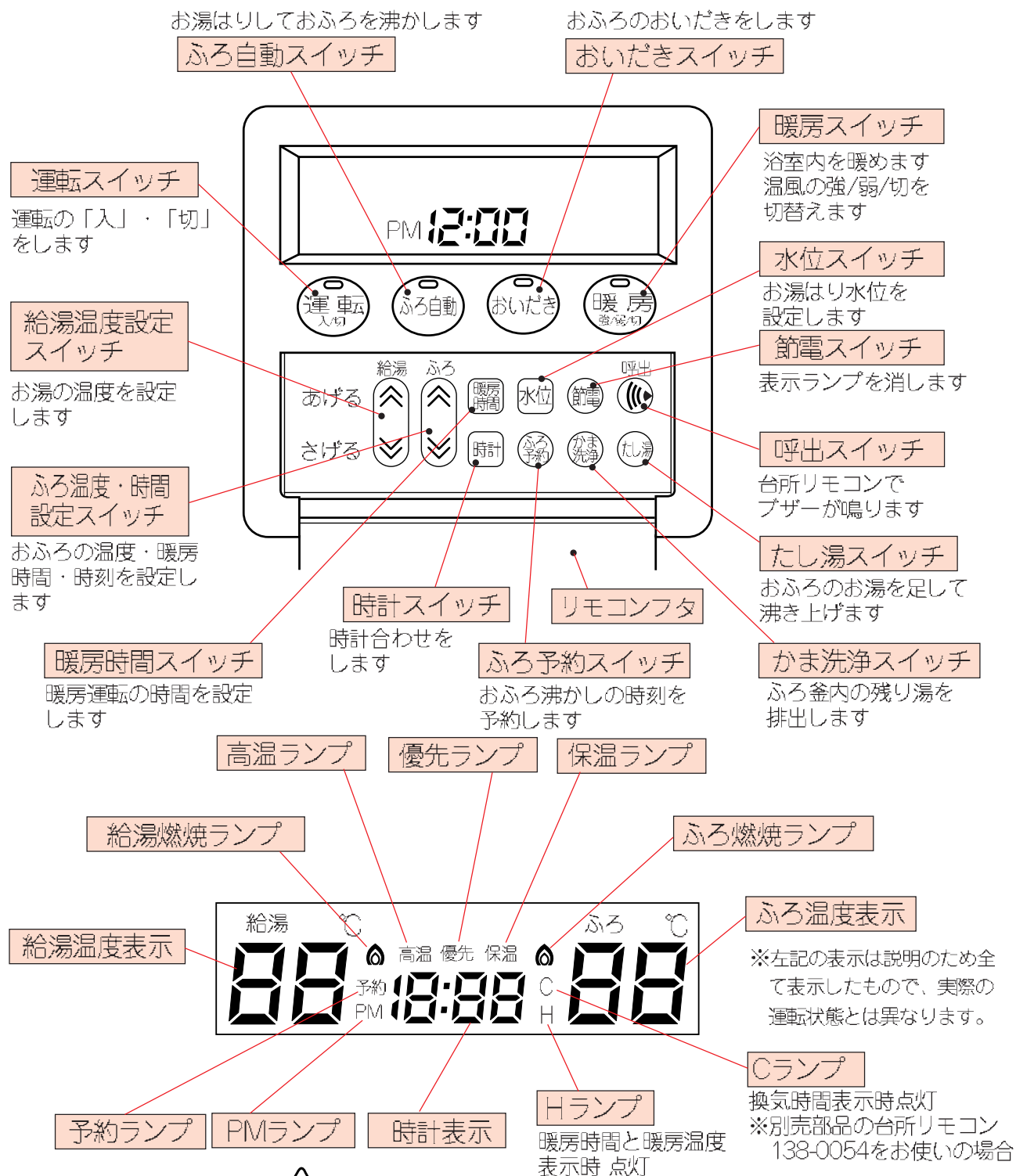
## ■機器内部の凍結予防について

●機器内部の凍結予防は、28～30ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

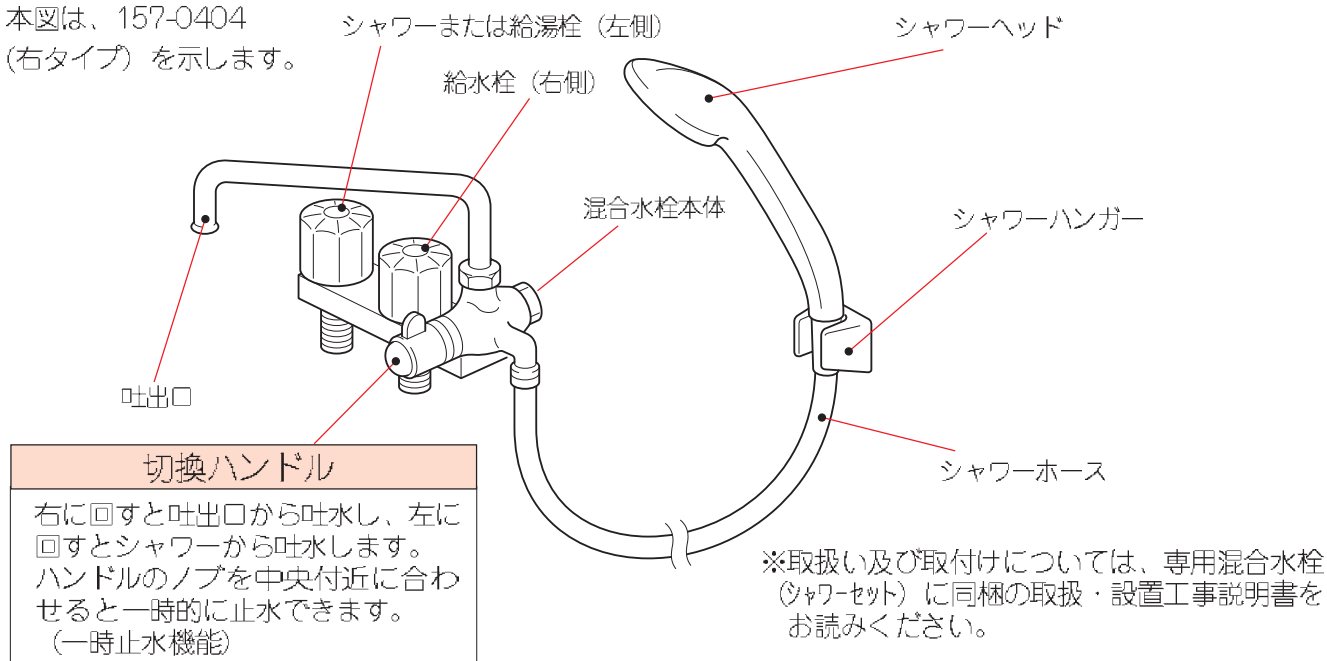
# 各部の名まえとはたらき

## ■標準設置例

浴室リモコン
（9ページ参照）
給水元栓
機器本体
混合水栓
（10ページ参照）
浴そう
ふろ循環ホース
切替ユニット
ふろ配管
漏電ブレーカー
（電源プラグ）
水 湯 ガス 往 戻
ガス元栓
循環アダプタ
水位センサ
給水配管
温風吹出し口
暖房端末機
エプロン
暖房配管
切替ユニット配管
給湯配管
アジャストカバー

※本図は、浴室のみの配管設置例です。
浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。

## ■本体

## ■漏電ブレーカー

## ■浴室リモコン

### ⚠ リモコン使用上の注意点

- ●スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。
  しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。
- ●リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。
- ●別売部品の台所リモコン138-0053、または138-0054を合わせてお使いの場合は、各々の取扱説明書をご覧ください。

## ■シャワーセット（別売部品）

### 一時止水のままにしない

●一時止水機能を持つ混合水栓使用時で給湯・シャワーを使い終わった後は、切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
一時止水がきかなくなる恐れがあります。

使用方法　初めてお使いいただくときは

## 使用前の確認

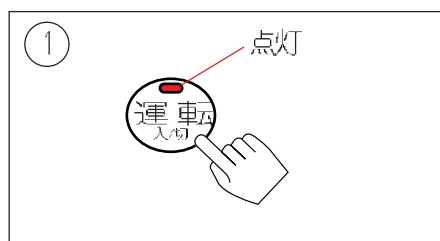
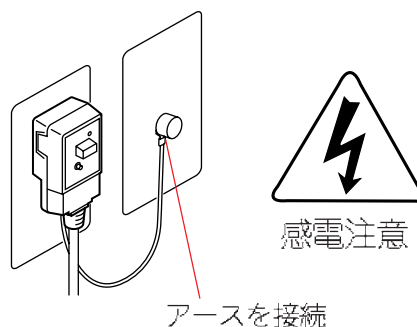
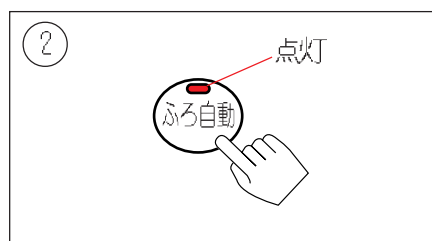
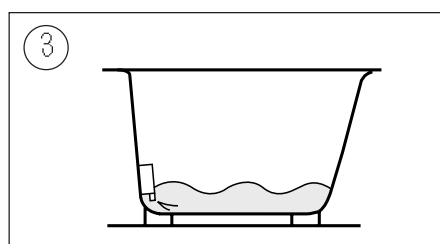
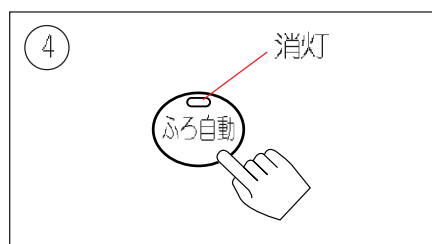
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1．給水元栓をいっぱいに開けます。

2．給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。

3．ガス栓を全開にします。

4．電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。

5．ポンプの呼び水をします。
（浴室リモコンで操作）

運転スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。

ふろ自動スイッチを押す。
「ふろ自動ランプ」が点灯します。

浴そうの循環アダプタからお湯が出てくることを確認します。

ふろ自動スイッチを押す。
「ふろ自動ランプ」が消灯します。

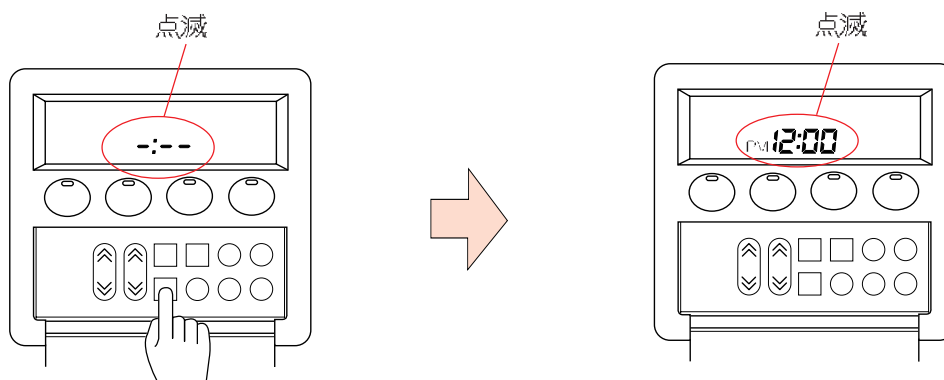
### ⚠ 111 が点滅したら

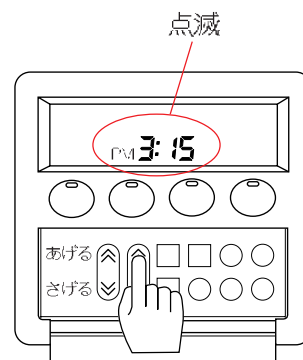
●はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。
この場合、浴室リモコンおよび別売部品の台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコードが点滅し給湯不着火をお知らせします。
このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、運転スイッチを押してエラーを解除し、再度運転スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を、２～３回繰り返してください。

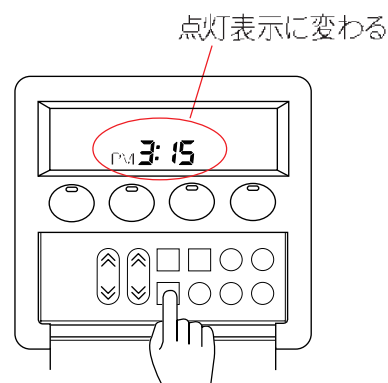
# 時刻の合わせ方

## 現在時刻の合わせ方

1．時計スイッチを押します。

●時計表示が点滅します。初回設定時は、「PM 12：00」が点滅表示します。
（例、電源投入時、または停電復帰時は、「－：－－」点滅表示になっています。）

2．ふろ「温度・時間設定」のあげる、さげるスイッチを押し、現在時刻を設定します。

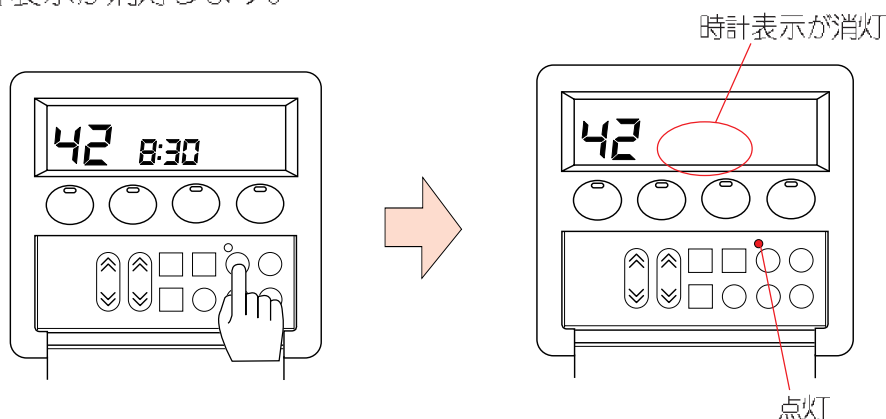
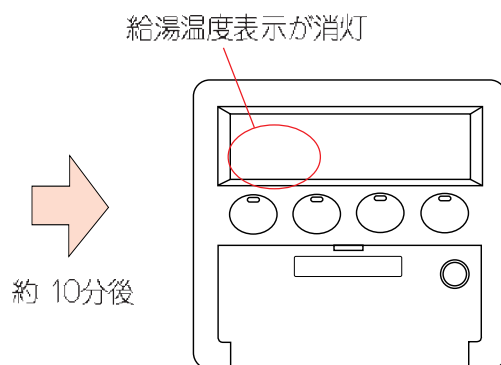
●押す度に、1分ずつ変わります。
●押し続けると、10分ずつ早送りできます。
（例、PM3時15分にセットする場合）

3．もう一度、時計スイッチを押します。

●点滅が、点灯表示に変わり、
時刻設定が完了します。

### 時刻設定は、浴室リモコンで

●現在時刻の設定スイッチは、浴室リモコンにあります。別売部品の台所リモコンでは、時刻設定はできません。
●現在時刻の設定がされていないと、「ふろ自動運転予約」「暖房運転予約」機能は動作しません。

## 使用方法

1.（節電）スイッチを押します。

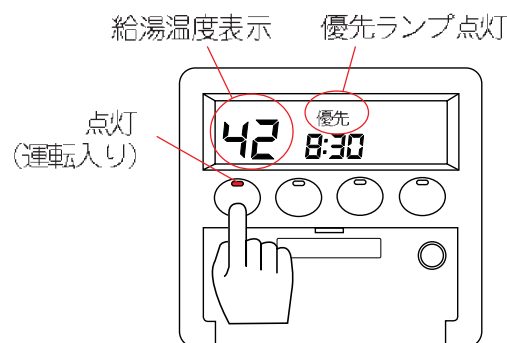
●「節電ランプ」が点灯します。
●同時に、時計表示が消灯します。

2．約 10分後に、給湯温度表示が消灯します。

### 節電機能ご使用上の注意点

●  スイッチ「入」・「切」に関係無く使用できます。
●安全のため、一時的に給湯温度表示を復帰し点灯します。
　・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。
　・給湯温度設定が変更されたとき。
●給湯温度が60℃に設定されている場合、給湯温度表示は消灯しません。
●ふろ温度表示は消灯しません。
●別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、リモコン別に節電機能を使用できます。
●節電動作中でも、運転ランプ・燃焼ランプ・優先・高温・保温・暖房時間などのランプは消灯しません。

# 使用方法　お湯の出しかた

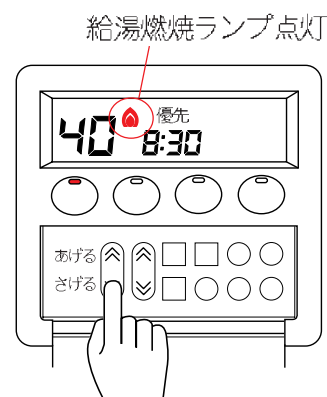
## お湯を使いたい　器具運転開始

1．（運転 入/切）スイッチを押します。

- 「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
- 給湯温度が表示されます。

2．給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
（一度設定すると記憶します）

（例：42℃ → 40℃）

- 給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の15段階に設定できます。（37～50℃間は、1℃きざみ）
- スイッチは１回押すたびに、１段階ずつ調節できますが、（︽）スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。

※一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は、42℃設定となっています）

3．シャワー栓または給湯栓を開けます。

- 燃焼を開始し、「給湯燃焼ランプ」（炎）が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。）

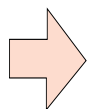
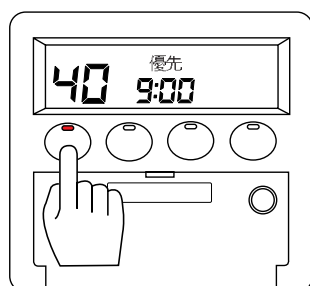
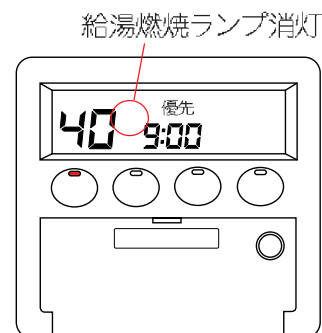
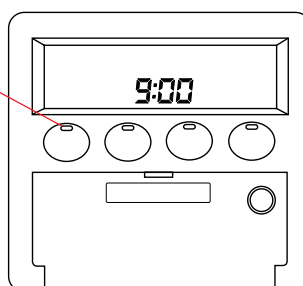
※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコン側の「給湯燃焼ランプ」（炎）も点灯します。

## シャワー・給湯停止　器具運転停止

1．シャワー栓または給湯栓を閉めます。

- 燃焼が止まり、「給湯燃焼ランプ」（炎）が消灯します。
- 「優先ランプ」はそのまま点灯しています。
（再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。）

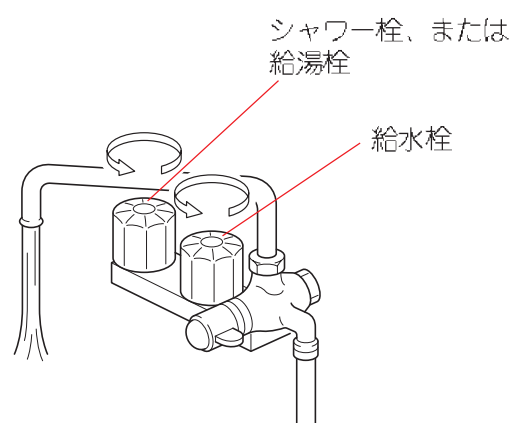
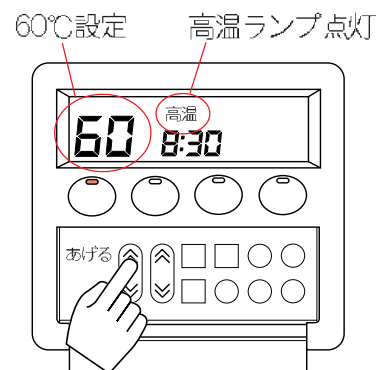
2．もう一度（運転 入/切）スイッチを押します。

- 浴室リモコンの「運転ランプ」「給湯温度表示」「優先ランプ」が消えます。
- 別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコンの（運転 入/切）スイッチを押しても運転は停止できます。

# シャワーの湯量が少ないとき（低水圧）

●給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお推めします。この場合、スイッチで湯温を60℃に設定して使われることをお推めします。

●湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。

● 60℃設定にすると、「高温ランプ」が点灯します。

高温注意

## やけどに注意

■やけどに注意
●湯温を確認してから使用してください。

■混合水栓使用時のご注意
●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱いお湯がでる恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

## 運転を再開する場合

●運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37℃～50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60℃であったときは安全のため42℃に戻ります。

# 使用方法 ふろ自動運転…ふろの自動お湯はりをしたい

## 運転前の準備

排水栓を閉めます。
おふろを沸かす前に必ず排水栓を閉めます。

浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。

**⚠ 排水栓はしっかりと**

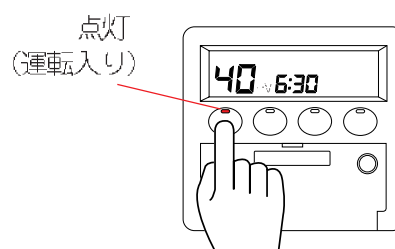
●浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約１時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

## ふろ自動運転の使用方法

### 1. 運転（入/切）スイッチを入りにしてから ふろ自動 スイッチを押します。

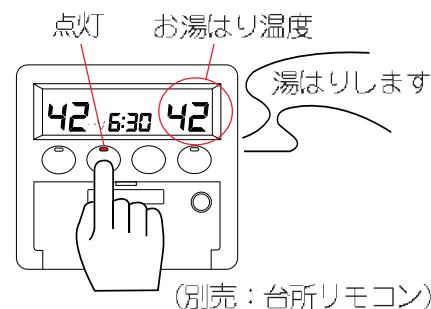
●「ふろ自動ランプ」が点灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯し、自動的にお湯はりが開始されます。

●給湯温度は、お湯はり温度に変わります。

点灯（運転入り）

●別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、ふろ自動運転開始時に、台所リモコンから「湯はりします」と、音声でお知らせします。

点灯　お湯はり温度

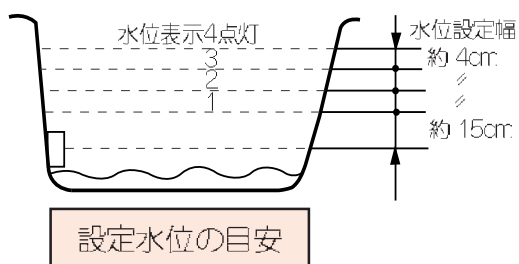
湯はりします

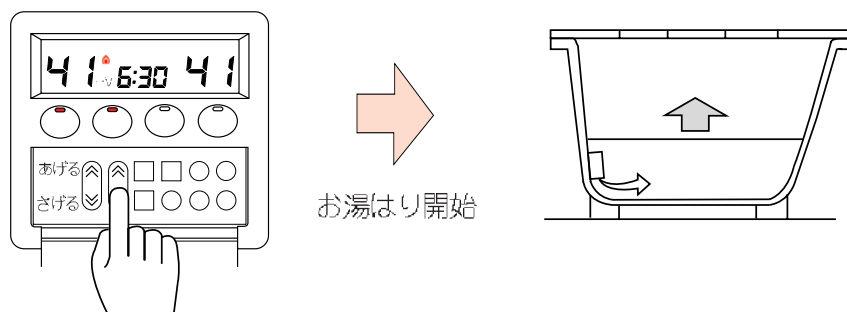
（別売：台所リモコン）

### 2. 水位 スイッチでお湯はり水位を設定します。

※ 水位 スイッチを押す毎に、水位 2→ 3→ 4→ 1→ 2 … と設定できます。

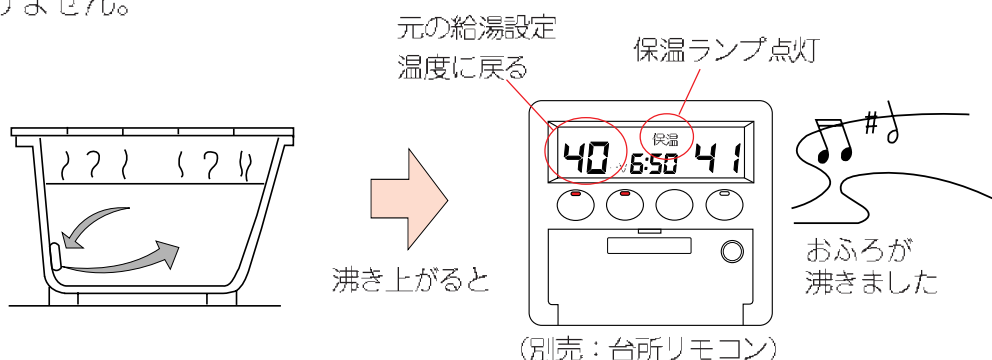
●希望の水位を1～4の 4段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は、水位２となっています）

●水位の目安は、ふろ循環アダプタの中心から上方約15ｃｍから約 4cm きざみの4段階となっています。

設定水位の目安

## 3．ふろ「温度・時間設定」の あげる、さげるスイッチでお好みのお湯はり温度に設定します。

●お湯はり温度は、目安ですが、約 37から48℃の範囲で１℃ずつ設定できます。
●「ふろ温度表示」と同時に、「給湯温度表示」も変わります。

## 4．沸き上がると自動でストップ。（ブザーでお知らせ）

●おふろの設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まります。
　この時、給湯温度は元の給湯設定温度に戻ります。
●お湯はりが終了すると、沸き上げ運転に入り、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。
●設定温度までの沸き上げが終了しますと、「保温ランプ」が点灯し、リモコンからブザーでお知らせします。
※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンから、メロディと音声「おふろが沸きました」でお知らせします。
※「保温ランプ」が点灯（初回の沸き上げ完了）するまで、(たし湯) (おいだき) スイッチは受け付けません。

（別売：台所リモコン）

## 5．自動保温・自動足し湯運転となります。

●初回の沸き上げ完了から、約４時間が経過すると「ふろ自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。
※途中で、(運転入/切) スイッチまたは (ふろ自動) スイッチを押すと、自動運転を停止します。

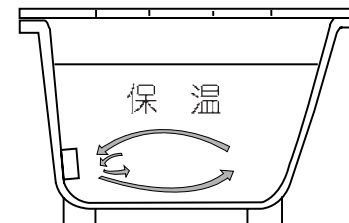
### ふろ自動運転ご使用上の注意

●電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は、42℃設定となっています。
●浴そうに残り湯がある場合も (ふろ自動) スイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりし、沸き上げます。
●「保温ランプ」が点灯中は (おいだき) (暖房) (たし湯) のいずれかのスイッチを押しても自動保温・自動足し湯は解除されません。

## お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

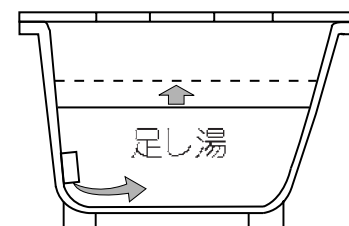
●保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきします。このとき、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。

●保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低めに設定を変えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。

●自動保温機能は、初回の沸き上げ完了から約４時間作動します。

> おいだき設定温度を自動の設定温度より１，２℃高めに設定し、保温運転中に（おいだき）スイッチを押せば、ちょっと熱めのお湯にできます。

## お湯が減れば自動で足し湯します。

●お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約 3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯を足し湯します。このとき「給湯燃焼ランプ」が点灯します。給湯温度は、お湯はり温度が表示されますが、足し湯終了時は元の温度に戻ります。

●自動足し湯機能は、初回の沸き上げ完了から約 4時間作動します。

> 保温運転中に（たし湯）スイッチを押せば、さらにたっぷりのお湯で入浴できます。

## 自動運転停止

ふろ自動運転を途中で止めたいときは、再度（ふろ自動）スイッチを押します。

● 「自動ランプ」が消えます。
● 「ふろ温度表示」が消えます。
● 「給湯温度表示」が給湯使用時の温度にもどります。

### 自動お湯はり中の給湯使用について

●自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
●配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

# 使用方法　おいだき運転…ふろのおいだき・沸かし直しをしたい

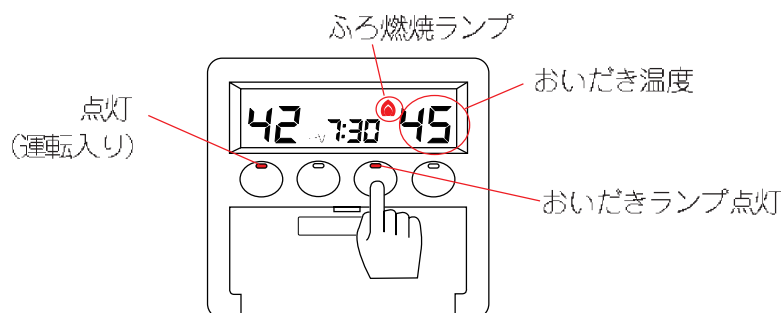
## 運転前の準備

●循環アダプタのキャップが充分つかる程度（循環アダプタ中心より約10cm以上）のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだき運転はできません。

## 使用方法

### 1．（運転 入/切）スイッチを入りにしてから（おいだき）スイッチを押します。

●「おいだきランプ」、「おいだき温度表示」が点灯して、ポンプがまわり浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。

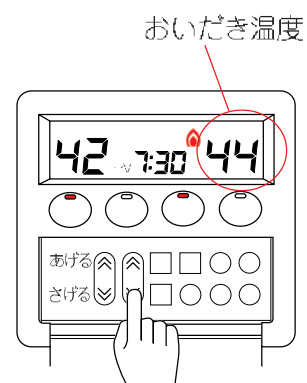
●しばらくして「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、ふろのおいだきを始めます。

### 2．ふろ「温度・時間設定」の あげる、さげるスイッチで、おいだき温度を設定します。

おいだき温度

●おいだき温度は、目安ですが37～48℃の範囲で1℃ずつ設定できます。

●スイッチは１回押すたびに、１段階ずつ調節できますが（∧）スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。

●ふろ自動運転による沸き上げ温度と違う温度に記憶できます。

※一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は、42℃設定となっています。）

（例、45℃ → 44℃）

### 3．沸き上がると、自動でストップ。

●「ふろ燃焼ランプ」、「ふろ温度表示」、「おいだきランプ」が消灯し、約 30秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだきを止めたいときは、再度（おいだき）スイッチを押します。

**おいだき運転ご使用上の注意点**

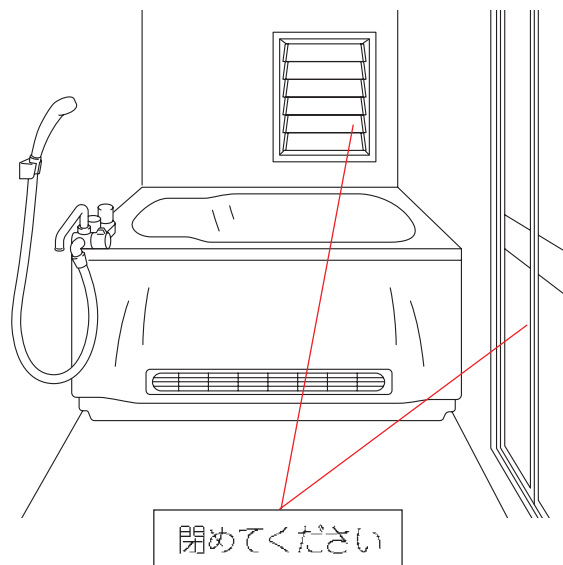
おいだき中に（ふろ自動）（たし湯）のいずれかのスイッチを押すと、おいだき運転を終了し、各々の動作に移ります。

おふろ沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「ふろ自動運転」をおすすめします。

# 使用方法 暖 房 運 転…入浴前など浴室内を暖めたい

## 運転前の準備

●浴室の窓とドアは
閉めてください。

必ず行う

## 暖房運転の使用方法

1.（運転 入/切）スイッチを入りにしてから（暖房 強/弱/切）スイッチを押します。

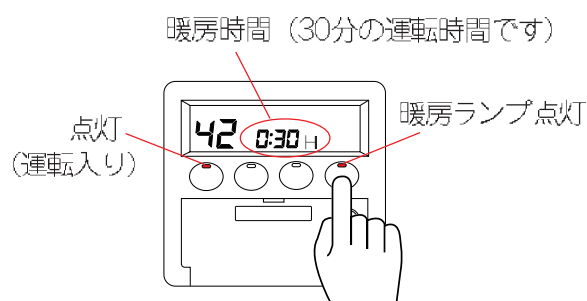
● 「暖房ランプ」、「暖房時間表示」が点灯します。

●暖房端末機への注湯を約２リットル行うため、
「給湯燃焼ランプ」 が点灯します。
このとき、浴そうのふろ循環アダプタから
お湯が出ます。

暖房時間（30分の運転時間です）
点灯
（運転入り）
暖房ランプ点灯
42 0:30 H

●暖房端末機への注湯が完了しますと暖房経路
の循環がはじまり、「ふろ燃焼ランプ」
が点灯します。

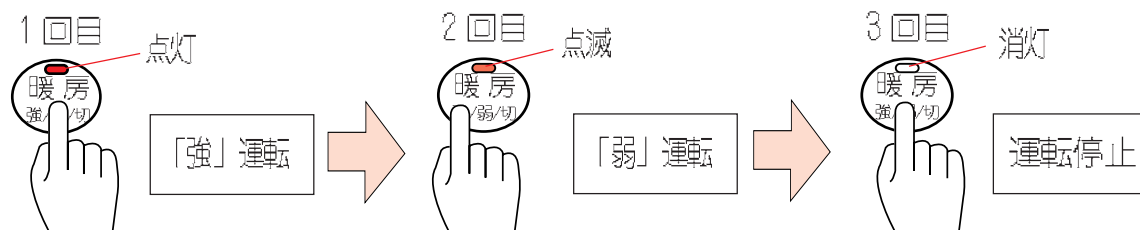
●暖房端末機が暖まりますと吹出し口から温風
が出てきます。
※約１分後に温風が出てきます。

●暖房時間表示は残り時間を表示し、残り時間が
ゼロになると、暖房ランプが消灯し約1分後に
運転が停止します。
※暖房時間表示は時計表示に切り替ります。

## 2．暖房運転の強／弱を切替えることができます。

※「強」運転：浴室を素早く暖めたいときにお使いください。
温風が強く吹出し浴室を素早く暖めます。

※「弱」運転：入浴中も浴室を暖めたいときにお使いください。
温風を弱くします。

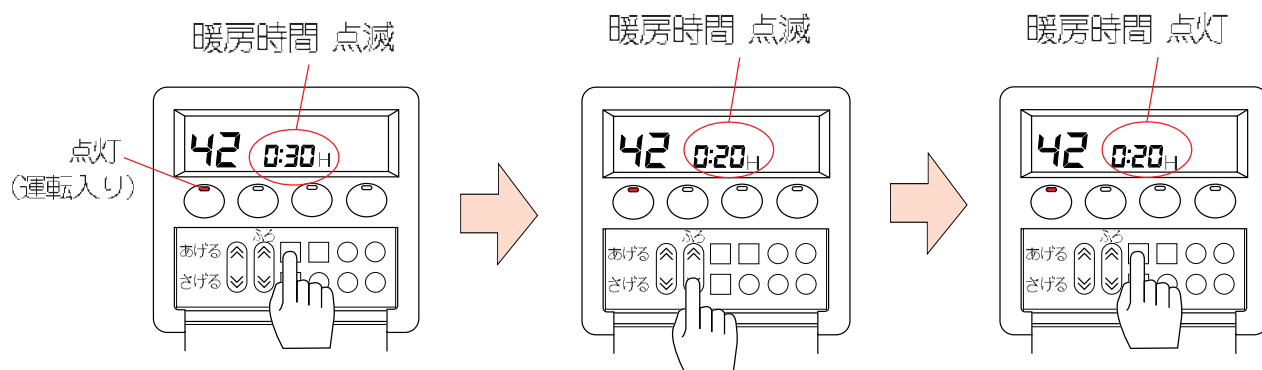
● 暖房 強/弱/切 スイッチを１回押すと「強」運転となり、暖房ランプが点灯します。
もう１回 暖房 強/弱/切 スイッチを押すと「弱」運転となり、暖房ランプが点滅します。
さらにもう１回 暖房 強/弱/切 スイッチを押すと運転が停止し、暖房ランプが消灯します。

「弱」運転は暖房ランプが点滅します

## 3．暖房運転時間を設定できます。

● 暖房 時間 スイッチを押し、時計表示部に暖房運転時間が点滅します。

●ふろ「温度・時間設定」のあげる、さげるスイッチを押し、暖房の運転時間を設定します。
10分→20分→（10分刻み）→50分→1時間→1時間30分→（30分刻み）→…
→5時間30分→6時間

●再度、暖房 時間 スイッチを押して設定完了です。

（例、20分に設定）

※暖房運転時間は、一度設定すると記憶します。
※電源投入時または停電復帰後は、30分設定となっています。

# ふろ自動運転から暖房運転の連動の方法

ふろ自動運転の沸き上げ完了後に暖房運転をします。

1.（運転 入/切）スイッチを押します。

2.（ふろ自動）スイッチを押してから（暖房 強/弱/切）スイッチを押します。

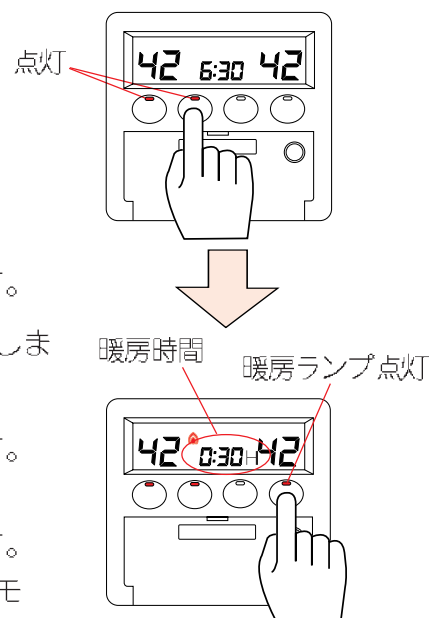
● 「暖房ランプ」、「暖房時間表示」が点灯します。
約３秒後に暖房時間は消灯し、時計表示に切り替ります。

※暖房「弱」運転にする場合は、（暖房 強/弱/切）スイッチをもう一度押します。暖房ランプは点滅します。

●ふろ自動運転の沸き上げ完了後に暖房運転を開始します。
このとき時計表示が暖房時間表示に切り替ります。

●暖房運転開始から約１０分後にブザーでお知らせします。

※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンからはメロディと音声「おふろが沸きました」でお知らせします。

※暖房運転中に（ふろ自動）スイッチを押すと暖房運転を一時停止し、ふろ自動運転となり、暖房時間表示が水位表示に切替わり、約３秒後に時計表示となります。
ふろの沸き上げが完了しますと暖房運転を再開し、時計表示が暖房時間に切替わります。
このとき暖房時間は停止前の時間が再表示されます。

## 暖房運転ご使用上の注意

●給湯、または ふろおいだき使用中に、（暖房 強/弱/切）スイッチを押した場合暖房運転は待機します。
このとき暖房運転時間は進んでしまいますので、ある程度長めに設定してください。

●暖房運転中に（おいだき）（たし湯）スイッチを押すと暖房運転を一時停止、待機します。このとき暖房運転時間は進んでしまいます。

●暖房「弱」運転にしますと、浴室の暖まるまでの時間が長くなります。

●浴室内の温度が設定温度になりますと、自動で「弱」運転になります。

●浴そうの循環アダプタまで水またはお湯がない場合、暖房運転終了時循環アダプタから少量のお湯がでます。

●浴そう下部からの温風ですので、足下が熱く感じることがあります。

●浴室の種類、大きさ、季節などによって、暖まる時間は異なります。

●浴室が冷えている場合、30分ぐらいの暖房運転をすることをおすすめします。運転時間が短いと肌寒く感じることがあります。

●暖房運転を停止してからファンは遅れて停止します。浴室内の温度にもよりますが、約１分程度かかります。

●入浴中に暖房した場合

・温風が身体に直接あたると、寒く感じられることがあります。

・浴室内の温度が低い場合には、充分な効果が得られないことがあります。

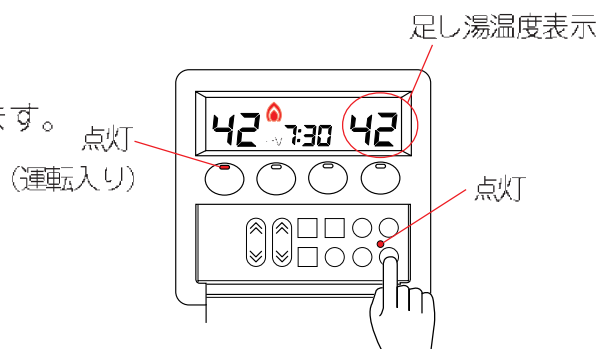
・「強」にすると風が強くなり、肌寒く感じます。

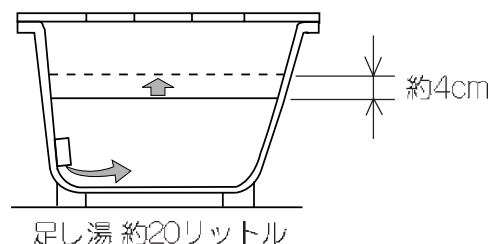
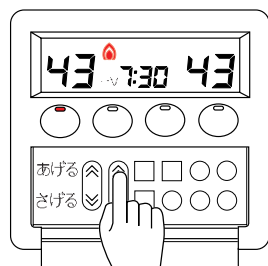
・風が当り不快と感じる場合はご使用をお控えください。

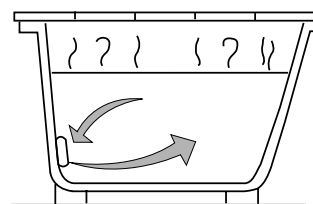
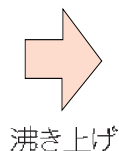
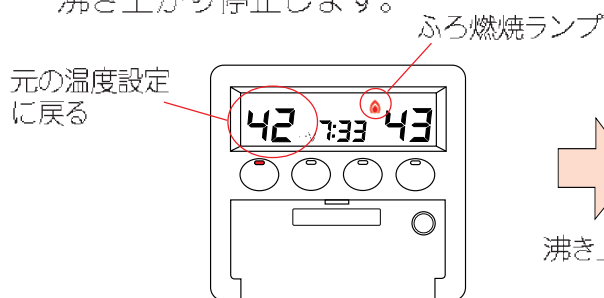
# 足し湯運転…ふろのお湯の量を増やしたい

## 使用方法

### 1．(運転 入/切)スイッチを入りにしてから、(たし湯)スイッチを押します。

●「足し湯ランプ」、「足し湯温度表示」が点灯します。
●浴そうのふろ循環口から、お湯が出て「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●約 20リットルの足し湯（注湯）を行います。

### 2．足し湯温度を変更できます。

●ふろ温度設定スイッチで、足し湯温度が変更できます。
●給湯温度は、足し湯温度に変わります。　（例、42℃ → 43℃）

### 3．足し湯温度に沸き上げます。

● 約20リットルの注湯が終了すると、給湯温度が元の温度設定に戻ります。
●「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、足し湯の設定温度まで、おいだきし、沸き上がり停止します。

●途中で足し湯運転を止めたいときは、(運転 入/切) または再度 (たし湯) スイッチを押します。

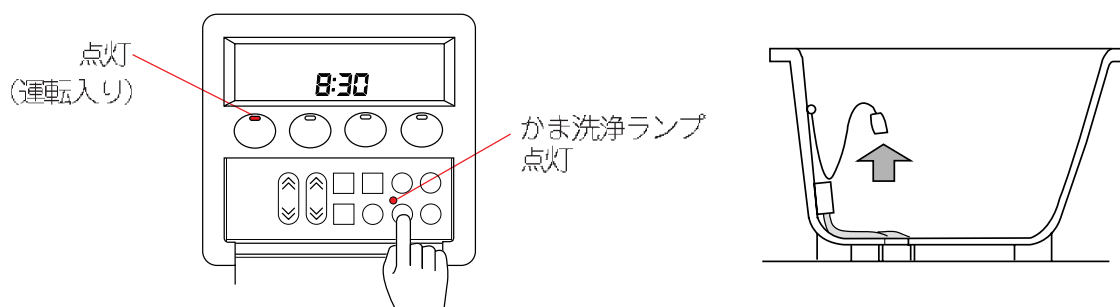
### ⚠ たし湯運転ご使用上の注意点

●足し湯温度は、記憶されません。次回の足し湯運転開始時の足し湯温度は、ふろ自動の温度になります。
●足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、足し湯量が減少します。
●足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、足し湯温度になります。
●足し湯中に (運転 入/切) (ふろ自動) (おいだき) スイッチを押すと、足し湯運転を終了します。

## 使用方法

1．浴そうの排水栓を抜いて、浴そう内の水を排水します。

2．(運転入/切)スイッチを入りにしてから(かま洗浄)スイッチを押します。

●「かま洗浄ランプ」が点灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●しばらくして、浴そうのふろ循環アダプタから、お湯が出てきます。
●約 40秒間、ふろ釜と暖房端末機内の残り湯をきれいなお湯で、押し流します。

3．ふろ釜、暖房端末機内のお湯を排出して終了します。

●「かま洗浄ランプ」が消灯し、注湯が完了すると、約 15秒間循環用ポンプが作動して、ふろ釜内の残水を排出します。

「かしこい」おふろ掃除の手順・・・

1．おふろの排水栓を抜いて、浴槽を空にします。
2． スイッチを押し、(かま洗浄) スイッチを押してふろ釜内に残った浴そう水を排出します。
3．浴そうのお掃除をはじめます。
4．浴そうの排水栓を閉めます。

### かま洗浄運転ご使用上の注意点

●かま洗浄運転は、ふろ釜内の残り湯をきれいなお湯で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗浄できません。
●かま洗浄運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。充分な排出ができないことがあります。
●かま洗浄運転中に、(運転入/切)(かま洗浄)(ふろ自動)(おいだき)(たし湯) スイッチを押すと、かま洗浄運転を終了します。（別売部品の台所リモコン138-0054と合わせてお使いの場合、台所リモコンの(換気)スイッチを押した場合も、かま洗浄運転を終了します。）
●浴そうの循環アダプタまで水が残っている場合、かま洗浄運転は動作しません。
●使用水圧の違いにより、「かま洗浄ランプ」が点灯してから注湯が完了するまでに時間がかかる場合があります。
●長期間おふろ、または暖房を使用しなかった場合は、かま洗浄運転をしてからお使いください。
●かま洗浄運転中は循環アダプタから熱いお湯がでる場合がありますので、循環アダプタに手や体を近づけないでください。

# 使用方法 ふろ自動運転予約…予約した時刻に沸かしたい

## 運転前の準備

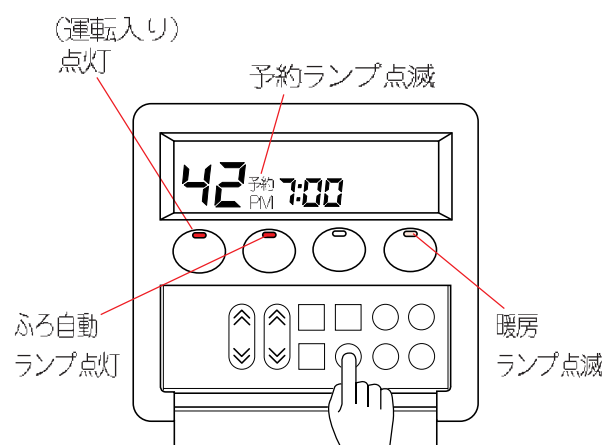
## 予約時刻設定

1．（運転 入/切）スイッチ入りにしてから、（ふろ予約）スイッチを押します。

●「予約ランプ」が点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が点滅表示されます。ふろ自動ランプが点灯し暖房ランプが点滅します。

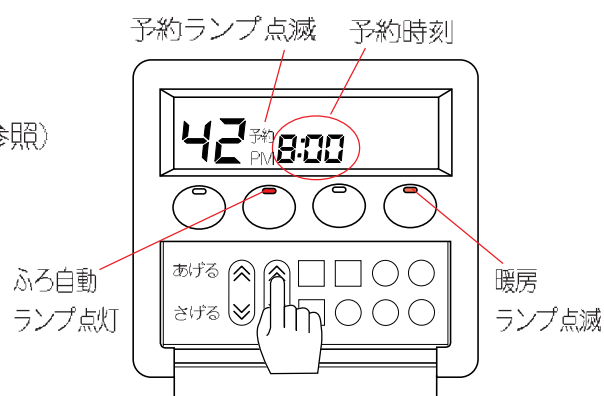
（電源投入時、または停電復帰時は、「PM7：00」表示になっています。）

※このとき（暖房 強/弱/切）スイッチを押して暖房ランプを点滅から点灯に変えると暖房運転も同時に予約できます。

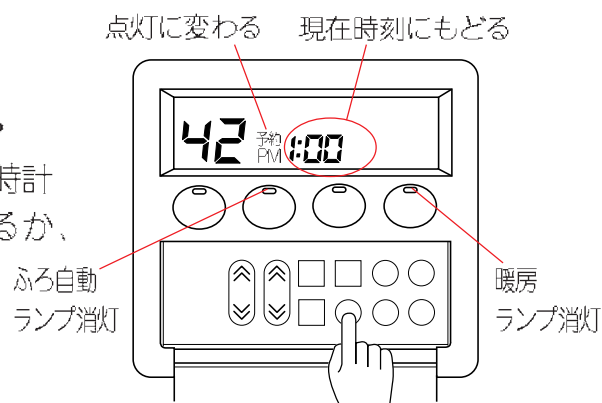
（ふろ自動運転と暖房運転の予約は27ページ参照）

2．ふろ「温度・時間設定」の あげる、さげるスイッチを押し、予約時刻（入浴したい時刻）を設定します。

●押す度に、1分ずつ変わります。

●押し続けると、10分ずつ早送りできます。

（例、PM8時に予約）

3．もう一度、（ふろ予約）スイッチを押します。

●点滅が、点灯表示に変わり、少しして、時計表示に戻ります。現在時刻が、あっているか、確認してください。

●自動運転予約待機となります。

# 予約運転の開始

●予約した時刻の40分前になると、「ふろ自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
（現在時刻から、40分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。）

●自動お湯はりが終了し、ふろ設定温度まで沸き上げると、ブザーにてお知らせします。

※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンからはメロディと音声にてお知らせします。

●初回の沸き上げ完了から約４時間は、自動足し湯・自動保温運転を続けます。

## 予約自動運転ご使用上の注意点

●現在時刻の設定がされていないと「ふろ自動運転予約」機能は動作しません。（12ページ参照）

●ふろ自動運転予約待機中に、予約解除するときは、(ふろ予約) スイッチを押してください。

●ふろ自動運転予約待機中に、(運転入/切) (ふろ自動) (おいだき) (暖房) (たし湯) (かま洗浄) (呼出) スイッチを押すと、予約は解除されます。

●ふろ自動運転予約時のお湯張り水位・温度は、ふろ自動運転時の水位・ふろ温度になります。
ふろ温度を変更する場合は、一旦、(ふろ自動) を入りにし、ふろ温度を変更し、(ふろ自動) を切りにした後、ふろ自動運転予約の設定を行ってください。

●沸き上がりブザーは、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。

●浴槽に、前日の残り湯が残っている場合（水からの沸き上げ）など、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。

●ふろ自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

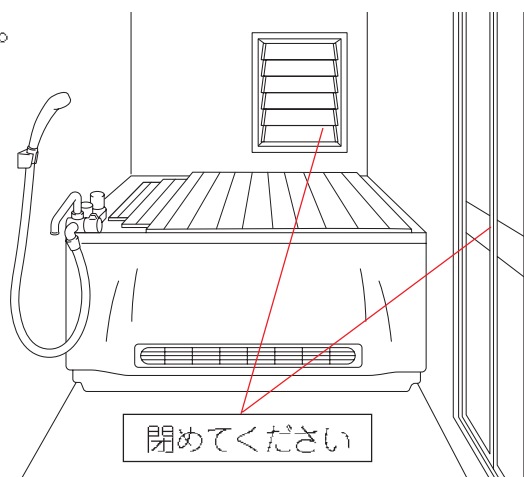
# 使用方法 ふろ自動運転と暖房運転の予約

## …予約した時刻にふろを沸かし、浴室も暖めたい

ふろ自動運転と、暖房運転の予約ができます。

## 運転前の準備

●浴室の窓とドアは閉めてください。
●おふろの排水栓を閉めてください
●浴そうにふたをしてください。

必ず行う

## 予約時刻設定

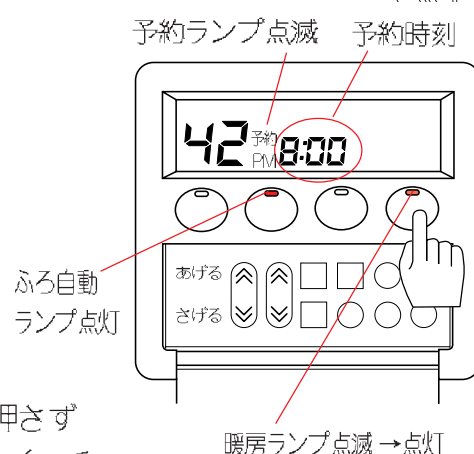
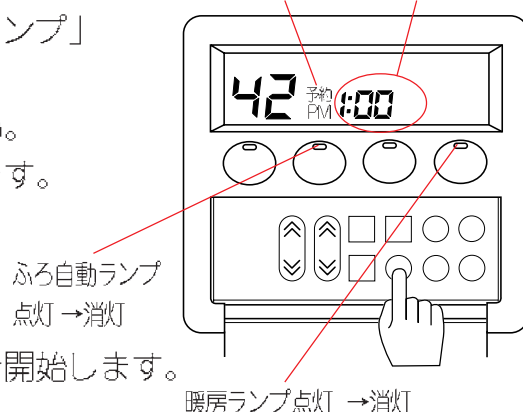
1. （運転 入/切）スイッチ入りにしてから、（ふろ予約）スイッチを押します。
2. ふろ「温度・時間設定」の あげる、さげる スイッチを押し、予約時刻（入浴したい時刻）を設定します。
3. （暖房 強/弱/切）スイッチを押します。

●「暖房ランプ」が点滅から点灯に変わります。

※暖房運転の予約をしない場合は（暖房 強/弱/切）スイッチを押さず「暖房ランプ」を点滅のままにしておくか、（暖房 強/弱/切）スイッチをもう一度押して「暖房ランプ」を点灯から消灯の状態にしてください。

4. もう一度、（ふろ予約）スイッチを押します。

●「予約ランプ」の点滅が、点灯表示に変わり、約３秒後に、「ふろ自動ランプ」と「暖房ランプ」が消灯し、予約時刻が時計表示に戻ります。現在時刻が、あっているか確認してください。
●ふろ自動運転予約で暖房運転が待機となります。
●予約した時刻の５０分前になると、「ふろ自動ランプ」と「暖房ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
●ふろ自動運転の沸き上げ完了後に暖房運転を開始します。
※　暖房は「強」運転となります。

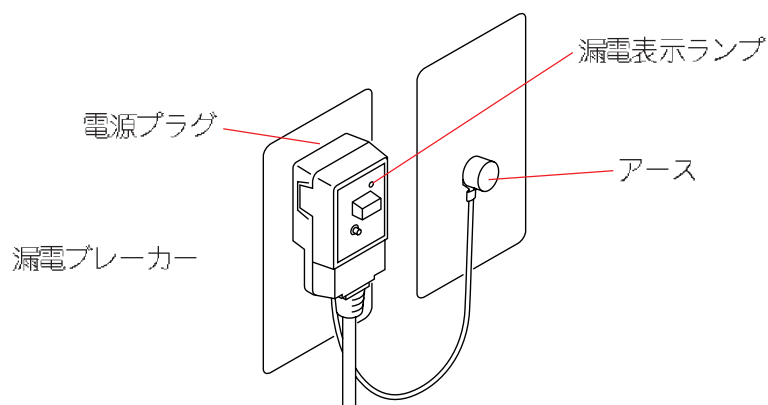
●暖房運転を開始してから約１０分後にブザーでお知らせします。
※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンからはメロディと音声「おふろが沸きました」でお知らせします。
※予約時刻前に暖房運転が終了することがありますので、暖房時間は長めに設定してください。
※給水圧、水温、設定温度によっては、おふろの沸き上げが20分以内に完了する場合がありますので、暖房時間は30分以上に設定することをおすすめします。
（暖房時間の設定は21ページ参照ください）

# 機器内部の凍結予防方法

## 凍結予防

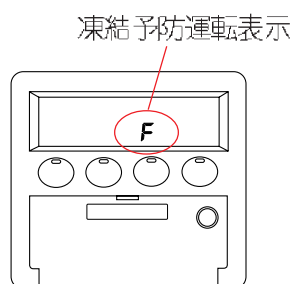
冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

### 1．通常の寒さのときの凍結予防ヒータによる予防方法

●電源プラグをコンセントに入れた状態にします。
抜けていると作動しませんので、注意してください。

●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。
点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。（31ページ参照）

●この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

●凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

●暖房端末の凍結を予防するため、機器内のポンプ等が動作し、おいだき燃焼をすることがあります。このとき、浴槽に少量の水またはお湯が出ます。また、リモコンの時計表示部に「Ｆ」が表示されます。

### 凍結予防に関する注意点

●ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時−15℃まで、有風（4m／秒）時−10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。

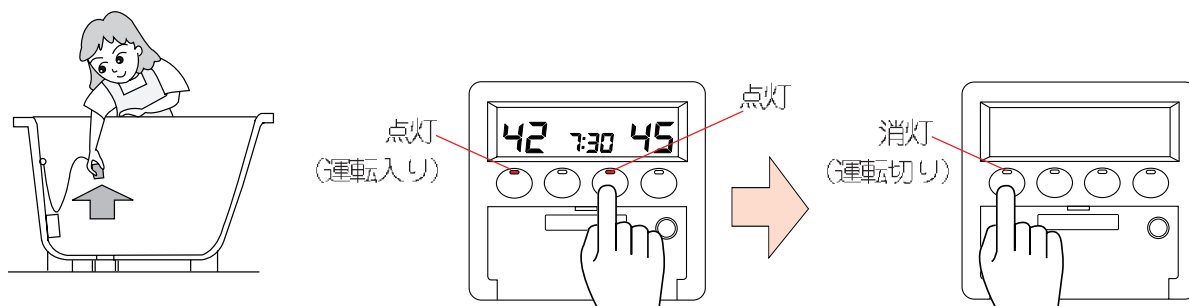
●ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。

●この機器は外気温が−15℃以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。
（36ページ参照）

## 2．冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

■おいだき側（ポンプの水抜き方法）

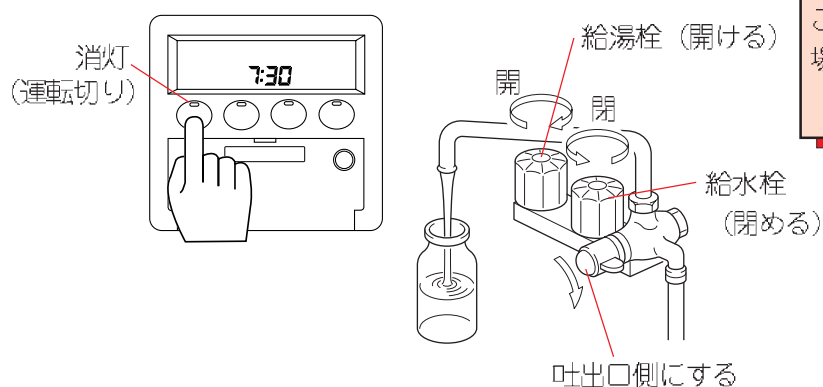
●浴そうの水をぬきます。

● 運転入/切スイッチを入りにして、おいだきスイッチを押します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。浴そうの循環アダプタから水の排出が無くなったら 運転入/切スイッチを切りにしてください。

■給湯側（通水による方法）

（1）リモコン 運転入/切 スイッチを切りにします。

●「運転ランプ」が消灯します。

（2）ガス栓を閉めます。

（3）おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。（流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。）

これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行なってください。
（36ページ（長期間使用しない場合）参照）

### ⚠凍結したときは

●凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。

●凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。

●再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。

●凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）

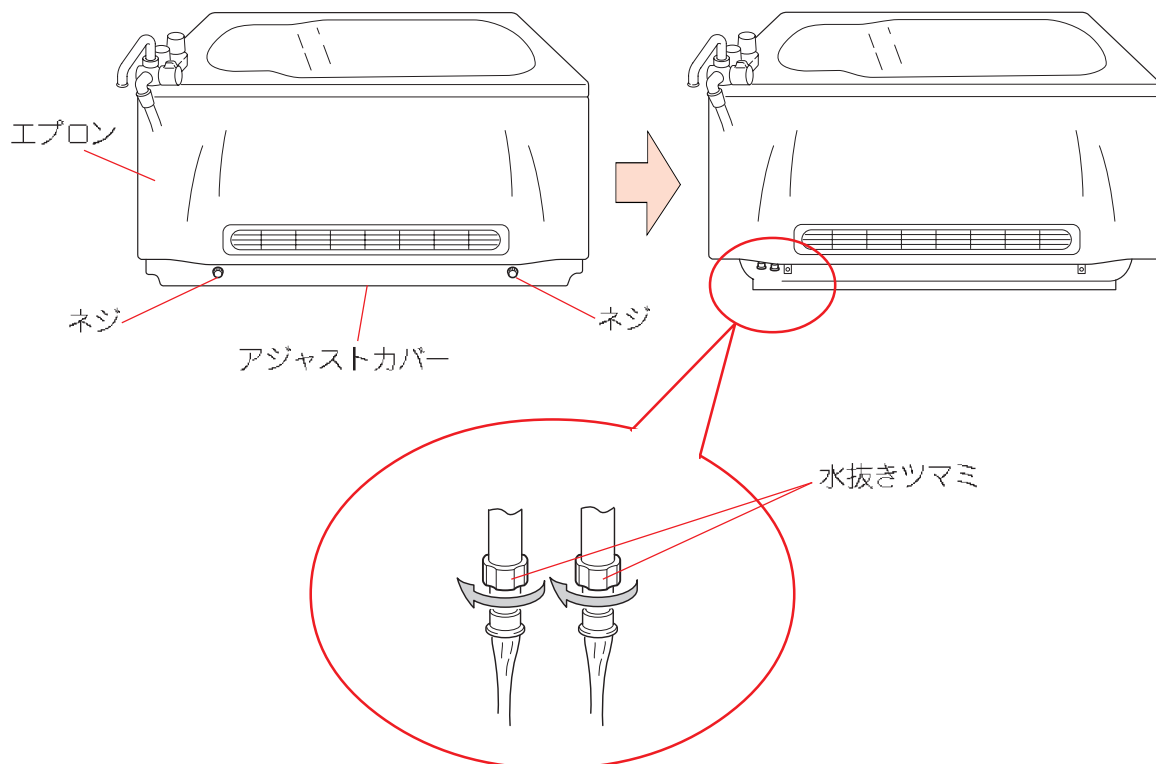
●万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。

■暖房端末機側（水抜き方法）

アジャストカバーが取付けられている場合

●浴そうエプロン下部のネジ2ヶ所を外します。
ネジは左回しで外れます。

●アジャストカバーを取り外します。

●水抜きツマミを2〜3回転程度左にまわして、ゆるめます。
このときまわしすぎないようにしてください。水抜きツマミが落ちてしまう恐れがあります。

●水抜きが完了したら水抜きツマミを右に回しツマミを締めこんでください。
このとき締めこみが甘いと水漏れの原因となりますので、しっかり締めこんでください。

●アジャストカバーを取り付けます。

●取り外したネジを再度取り付けて完了です。

アジャストカバーが取付けられていない場合

●水抜きツマミを2〜3回転程度左にまわして水抜きをし、水が抜けたら右にまわして締めこんでください。

⚠ 再使用する場合の注意

●再度使用する場合は、給湯・シャワー栓、暖房端末機の水抜きツマミが閉まっていることを確認してください。

# 点検・お手入れ

●お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。

●機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

## 点検のポイント

●機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。
●給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
●機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
●ガスのにおいはしませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器の外観に異常は見られませんか。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。
●温風吹出口の汚れは、やわらかい布でからぶきしてください。

### お手入れ時の注意

●機器外観やリモコン、温風吹出口の表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。
●ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
●リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
●循環アダプタ、温風吹出口のお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

## ■漏電ブレーカーの点検

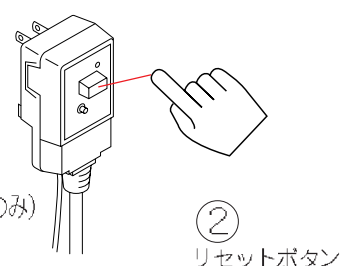
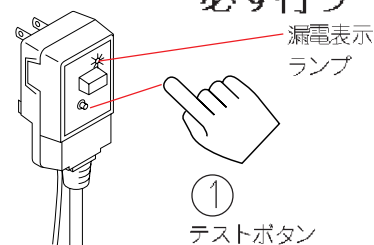
●漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行なってください。

① テストボタンを押します。　→漏電表示ランプが点灯します。
② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

必ず行う

●月に１回以上の作動確認を行なってください。

※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、
　お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを
　押してください。
　再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、
　お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
※作動確認後は設定していた温度、水位、現在時刻、自動運転予約
　タイマーが初期値になります。

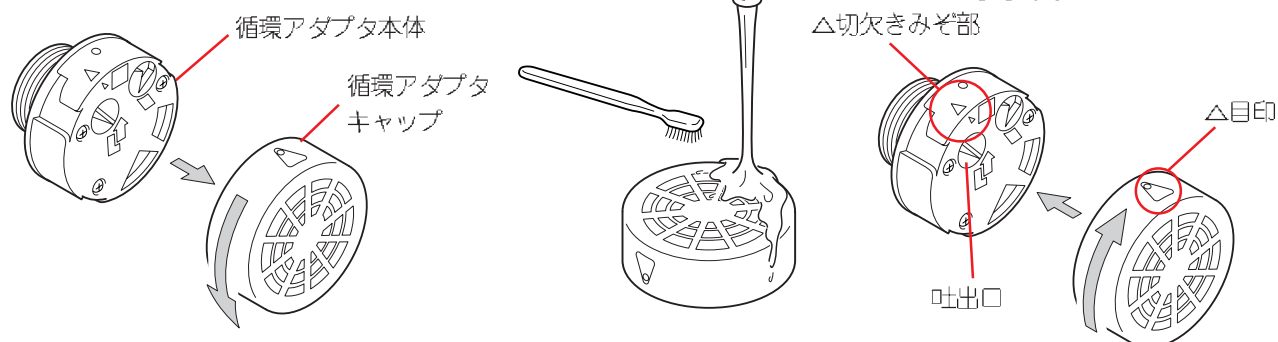
・給湯温度　42℃　　・お湯はり水位　水位2　　・暖房時間　0：30
・おいだき温度　42℃　・現在時刻　－：－－　　・暖房温度　温度2（台所リモコンのみ）
・ふろ自動温度　42℃　・自動運転予約時刻　PM７：00

## ■循環アダプタのお手入れ

●循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。
●月に１回以上、掃除してください。循環アダプタが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。

必ず行う

① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。

② 循環アダプタキャップを歯ブラシ等で水洗いします

③ 循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。

※循環アダプタキャップの取り付けは、循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。
※循環アダプタキャップは必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

# 故障かな？と思ったら…

## 次のことをお調べください

| 現　　象 | お調べいただきたいこと |
|---|---|
| リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない | ●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。<br>●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。（32ページ）<br>●停電していませんか。 |
| 給湯栓を開けてもお湯が出ない | ●ガス元栓が全開になっていますか。<br>●給水元栓が全開になっていますか。<br>●断水ではありませんか。<br>●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。<br>●凍結していませんか。（28～30ページ） |
| あついお湯が出ない | ●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。<br>●ガス元栓が全開になっていますか。<br>●給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。 |
| ぬるいお湯が出ない | ●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。<br>●水量を絞りすぎていませんか。（夏）<br>●給水元栓が全開になっていますか。 |
| おいだきができない | ●浴そうの水（湯）がふろ循環口より上にありますか。<br>●呼び水をしましたか。（11ページ） |
| おいだきがすぐ消火してしまう | ●ふろおいだき温度設定が低くなっていませんか。<br>●循環アダプタキャップがはずれていませんか。(32ページ)<br>●循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。(32ページ) |
| 浴そうの上下の温度差が大きい | ●循環アダプタキャップの向きは正しいですか。(32ページ)<br>●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(32ページ) |
| 設定した温度、時刻などが記憶されていない | ●停電が起きていませんか。<br>※１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度時刻、水位が初期値になります。(32ページ) |
| 浴室が暖まらない | ●「弱」運転になっていませんか。<br>●浴室のドアや窓が開いていませんか。<br>●給湯やおいだきなどをしていませんか。 |
| 温風が出ない | ●浴室の温度は高くありませんが。<br>●断水していませんか。<br>●約１分待ってください。暖房配管の湯温が上がると温風がでます。 |

# エラーコードの表示をお調べください

| 表　示 | 故障と思われる範囲または原因 | 処　　置 |
| --- | --- | --- |
| １１１<br>１２１<br>１１２<br>１２２ | 給湯不着火<br>給湯使用時、途中消火（失火）<br>ふろ不着火<br>ふろ使用時、途中消火（失火） | ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。 |
| １４０<br>１４０ | 残火安全装置作動<br>過熱防止装置作動 | 安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。 |
| ２５２ | ふろ循環系統の故障または異常 | 浴そうの循環アダプタキャップが充分につかるまで水（湯）がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。 |
| １０１ | ファンほこりづまり警告 | お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、すぐに販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。 |
| ９９１ | ファンほこりづまり異常 | 給湯、自動が使用できない状態ですので、すぐに販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。 |

## ⚠ リモコン表示ランプが点滅しているときは

●この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）

●エラーコードの点滅解除は、スイッチを押します。

●機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（511，512，311，331，322，432，721，722，611，310，700，710など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

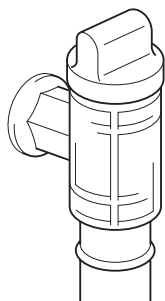
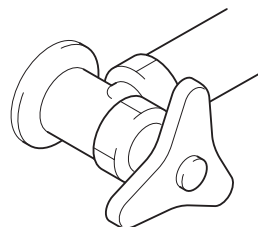
●使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、31ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

## 次のような場合は故障ではありません

| こんな場合 | 理由 |
|---|---|
| 給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。 | 機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。 |
| お湯の出を止めてもしばらく音がする。 | 消火後７分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。 |
| おいだきが終了してもしばらく音がする。 | 消火後30秒間はポンプを回転させておふろのお湯をかくはんしています。 |
| 寒い日に排気口から白い湯気がでる。 | 寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。 |
| 高温出湯にすると、お湯が白くなる。 | 水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。 |
| ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。 | おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。 |
| 排水ホースから少量のお湯が出る。 | この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。<br>●使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。<br>●給水圧が低い場所で同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へも、お湯を排水しますが異常ではありません。<br>●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。 |
| 給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。 | 給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約２ℓ/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。 |
| ぬるいお湯がでない。 | 夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。 |
| ふろ自動お湯張り中に、配管から音がする。ふろ循環アダプタから白いお湯が出る。 | ふろ自動お湯張り中に、お湯張り量を絞り器具の異常を診断しているため、水圧が高い場合など配管から音がします。また、水量を絞っているため、お湯が白くなる場合があります。 |
| ふろ自動、暖房、かま洗浄運転中に“ギー”という部品の動く音がする。 | ふろ配管経路を切替える部品が動いている動作音であり異常ではありません。 |
| 暖房運転開始と終了時にふろ循環アダプタからお湯が出るときがある。 | 暖房配管の残水を排出する動作であり異常ではありません。 |
| 暖房運転を終了しても、しばらく温風が出る。 | 暖房配管内の冷却運転であり異常ではありません。 |

# 長期間使用しない場合

## ●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

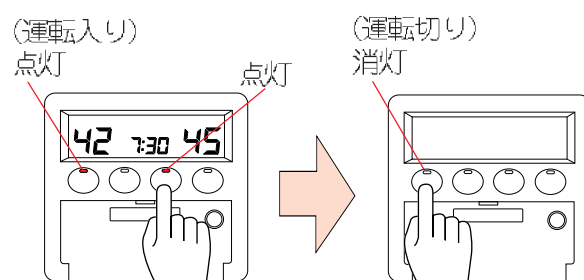
### 1．ガスの元栓を閉じる。

### 2．給水元栓を閉じる。

### 3．機器の水抜きを行う。

※水抜きの手順

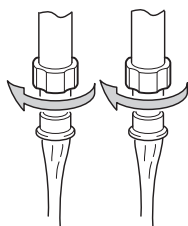
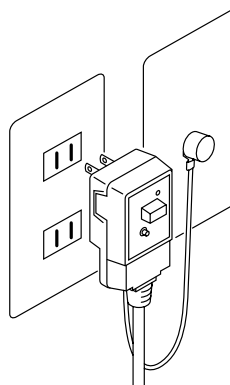
(1)給水、給湯配管に水抜栓がある場合は、水抜き栓を外す。

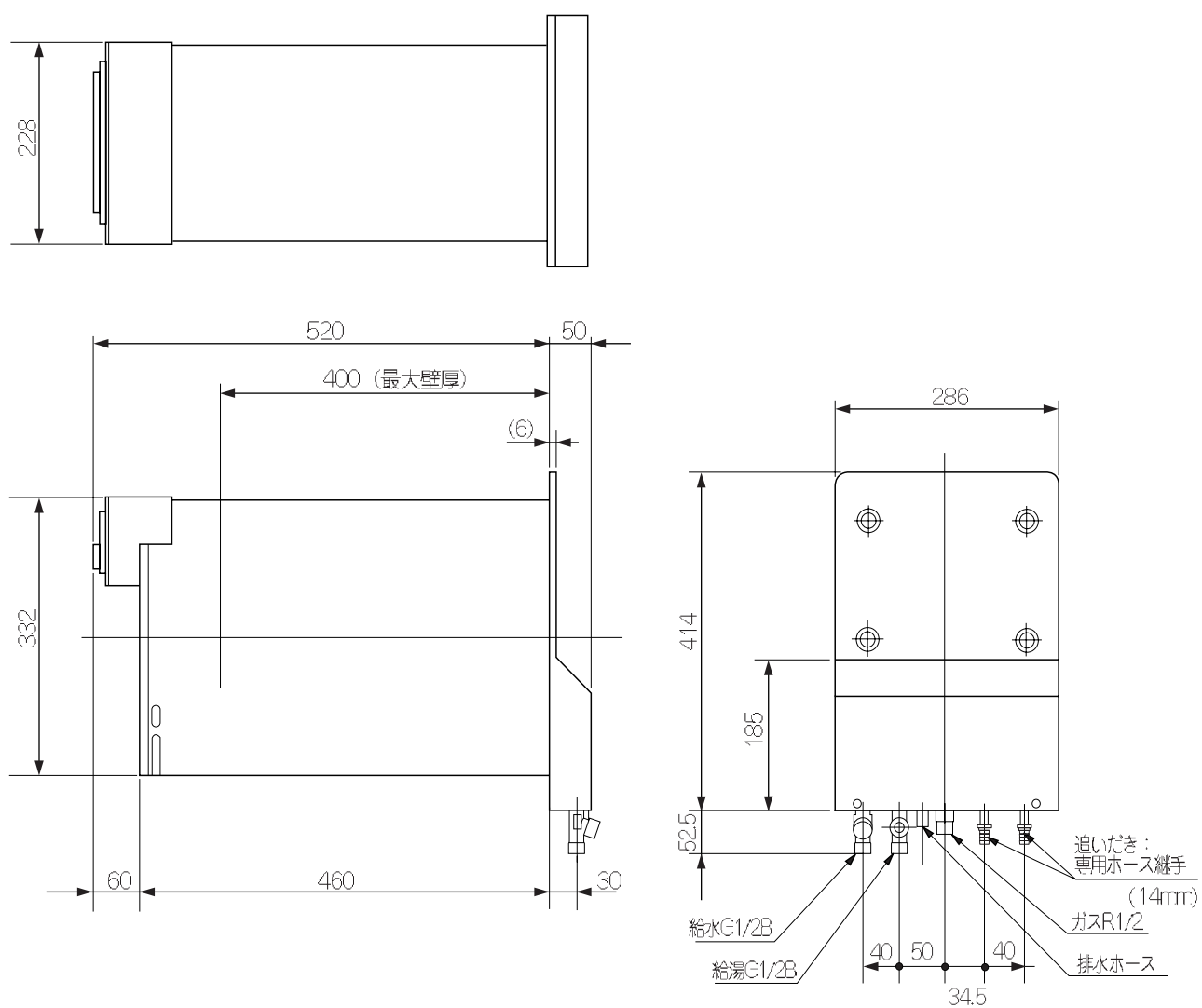
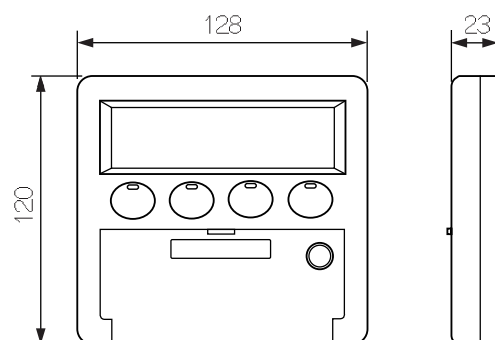
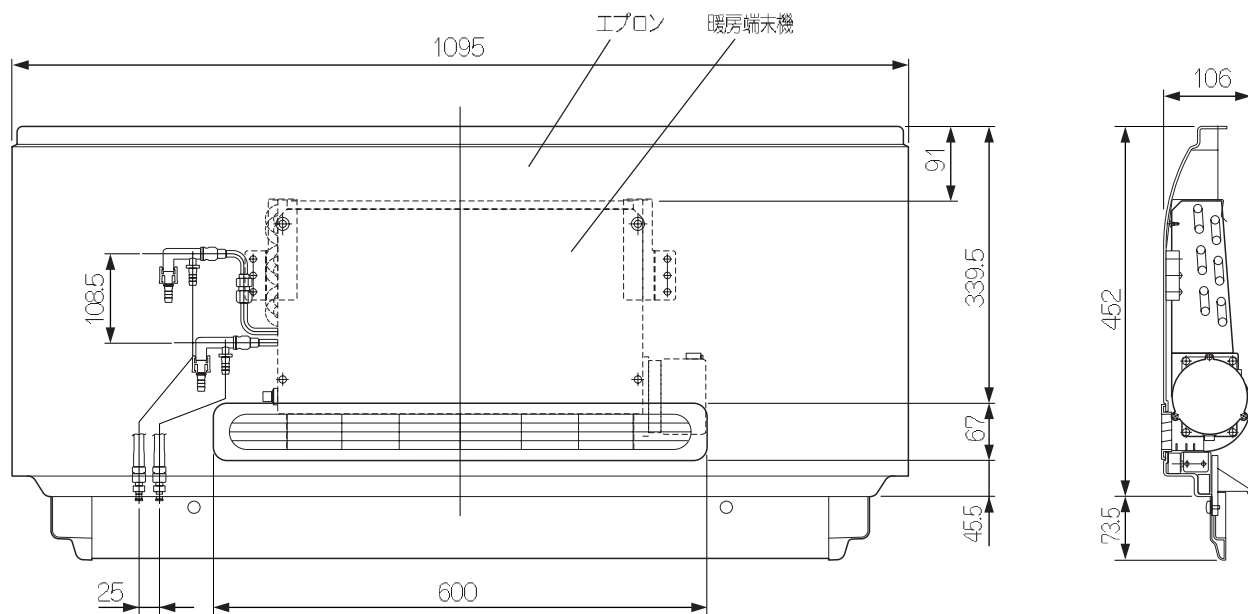
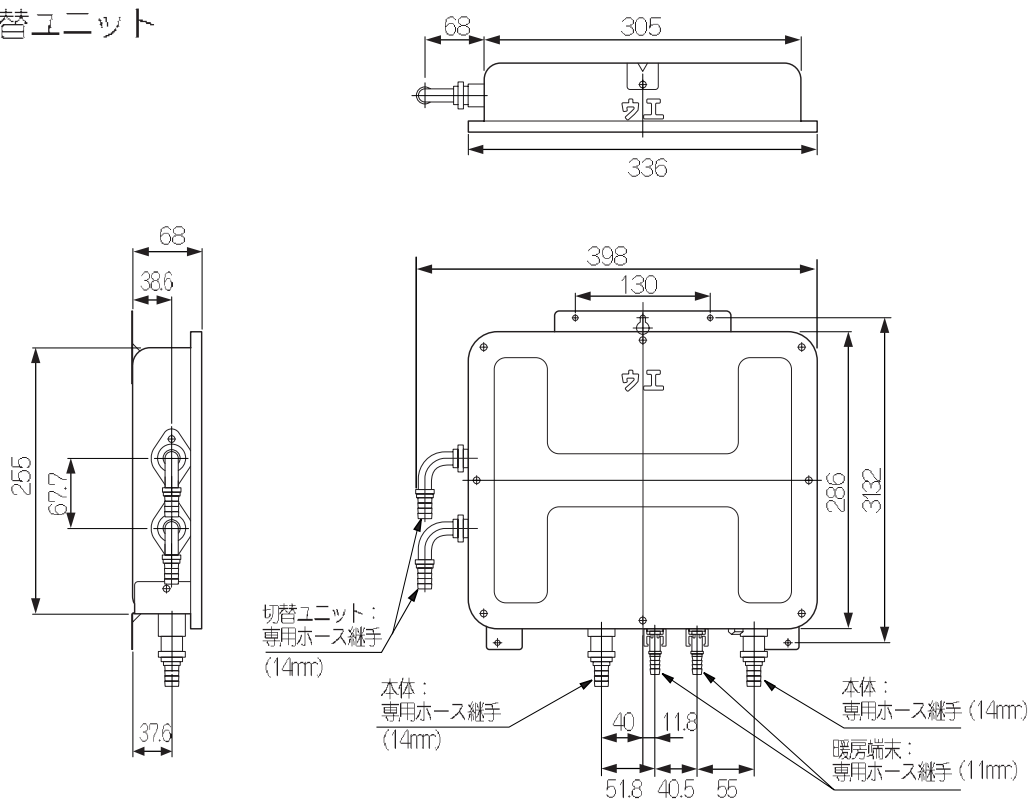
(2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。

(3) 浴そうの水を排水する。

(4) 運転入/切スイッチ入りにして、おいだきスイッチを押し、ふろ循環口から水の排出が無くなったら運転入/切スイッチを切りにしてください。

※ このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

(5) 暖房端末機の水抜きをおこなう。

※水抜き方法は30ページ参照

### 4．電源プラグをコンセントから抜く。

# 寸　法　図

■本　体

■リモコン
浴室、台所（別売部品）共通

■エプロン、暖房端末機

■切替ユニット

# 仕　様

## ■ 仕　様　表

### 1．本体：131-7109型、131-7119型

※1は131-7119型です。

| 項目 | | | 仕様 | |
|---|---|---|---|---|
| 外形寸法（本体） | | | 幅286×高さ467×奥行570mm | |
| | | | 幅286×高さ467×奥行857～970mm（調整範囲）　※1 | |
| 壁貫通部寸法 | | | 幅228×高さ332×奥行520mm | |
| | | | 幅226×高さ332×奥行807～920mm（調整範囲）　※1 | |
| 重量（本体） | | | 25 kg　29 kg※1 | |
| 接続寸法 | ガス | | R1/2（TU接続） | |
| | 給水・給湯 | | G1/2B | |
| | ふろ循環 | | φ14mm専用継手 | |
| 標準ガス消費量 kW | ガス質 | | 13A（kcal/h） | LP（kg/h） |
| | 給湯 | 最大 | 34.9（30,000） | 34.9（2.50） |
| | | 最小 | 5.8（5,000） | 5.8（0.42） |
| | ふろ | | 9.9（8,500） | 9.9（0.71） |
| | 同時（最大） | | 34.9（30,000） | 43.0（3.08） |
| 電気定格 | 電源 | | AC100V（50／60Hz） | |
| | 消費電力 | | 13A：95／105W、LP：110／120 W（給湯・ふろ同時使用時） | |
| | 凍結予防用ヒータ | | 64 W | |
| 最低作動水圧 | | | 19.6 kPa（0.2kgf/㎠） | |
| 使用水圧 | | | 53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/㎠） | |
| 制御システム | 給湯 | | フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御 | |
| | ふろ | | 温度設定沸上げ（37～48℃）、（給湯比例制御追従式） | |
| | ファン制御 | | DCファンによる回転数制御 | |
| 排気温度 | | | 260℃以下 | |
| 安全装置 | | | ・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知<br>・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁<br>・残火安全装置　・凍結予防用ヒータ | |

### 2．暖房端末：161-9000型

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 外形寸法 | 本体 | 幅547×高さ306×奥行96mm |
| | エプロン組込み | 幅1095×高さ530×奥行106mm |
| 重量 | | 4 kg |
| 接続寸法 | | φ11mm専用継手 |
| 性能 | 定格出力 | 2.7kW（2,300 kcal/h） |
| 風量 | 強 | 3.9m³/h |
| | 弱 | 2.1m³/h |

## ■ 出湯能力

＊印は換算相当出湯能力を示す。

| ガス種 | 標準号数（号） | | 温度上昇と標準出湯量（ℓ／分） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 水温+15℃ | 水温+25℃ | 水温+30℃ | 水温+40℃ | 水温+50℃ |
| 13A、LP | 能力大 | 16 | ＊26.7 | ＊16.0 | 13.3 | 10.0 | 8.0 |
| | 能力小 | 2.5 | 4.1 | 2.5 | ― | ― | ― |

上記数値は計算値です。

# アフターサービスについて

## ■アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、
ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1．品　名　・・・・・・・・・浴室暖房機能付きパックイン
2．大阪ガス商品コード・・・器具の全面右上部に貼付してあります
3．故障、異常の現象、エラーコード・・・・できるだけ詳しく
4．お客様名、住所、電話番号、道順

例）

| (N) 131-7109 |
| --- |
| 大阪ガス株式会社 |

## ■転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

## ■保証・補修について

●保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、
この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、
製造打切後10年間です。
ただし、当製品製造打切り後10年経過後であっても、補修用性能部品の在庫がある場合は
有料修理いたします。

## 大阪ガスのお問い合わせ先


| | | | |
|---|---|---|---|
| 大阪事業本部 | 〒５５０－００２３ | 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７ | 電話　０１２０－０－９４８１７ |
| 南部事業本部 | 〒５９０－０９７３ | 堺市住吉橋町２－２－１９ | 電話　０１２０－３－９４８１７ |
| 北東部事業本部 | 〒５７８－８５０２ | 東大阪市稲葉２－３－１７ | 電話　０１２０－５－９４８１７ |
| 兵庫事業本部 | 〒６５０－００４４ | 神戸市中央区東川崎町１－８－２ | 電話　０１２０－７－９４８１７ |
| 京滋事業本部 | 〒６００－８８１５ | 京都市下京区中堂寺粟田町９３ | 電話　０１２０－８－９４８１７ |


お電話のおかけ間違いのないようにお願いいたします。
（現在地、電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

大阪ガス株式会社

### お　ね　が　い

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガスにご連絡ください。

734T0799SG